

注目動画1

咳嗽

咳嗽を診る！ コロナ禍での診療ポイント

Part1
11:08
Part2
11:41
Part3
7:08



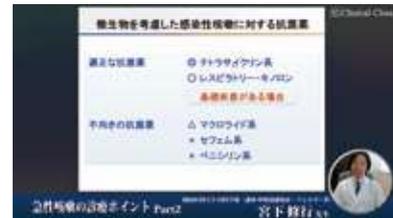
- POINT 1 症例から学ぶ急性咳嗽の考え方
- POINT 2 感染性咳嗽に考慮すべき抗菌薬
- POINT 3 「咳嗽・喀痰診療ガイドライン2019」

日常診療において「長引く咳嗽」を主訴とする患者に出会いますが、特にコロナ禍の昨今はその原因が何であるかを特定することが非常に重要になっています。咳嗽疾患の鑑別ポイントについて詳しくご解説いただきました。

関西医科大学附属病院
呼吸器感染症・アレルギー科 診療教授
感染制御部 部長

宮下 修行 先生

●専門分野
呼吸器病学、感染症学、
化学療法学、咳嗽診療



注目動画2

めまい

「めまい」とは何か？

Part1
11:39
Part2
11:11



- POINT 1 三半規管の役割と前庭動眼反射の関係性
- POINT 2 視性めまいとは？
- POINT 3 眼球運動の捉え方と障害部位の推定

患者にめまいの治療を受けてもらう際には、めまいのメカニズムを理解してもらうことが重要になります。そこで、三半規管の機能や前庭動眼反射、視運動反射の原理に詳しく触れていただきながら、実臨床での中枢性・末梢性めまいを伴う疾患についてわかりやすくご解説いただきました。

東京医科歯科大学医学部附属病院
耳鼻咽喉科学 教授

堤 剛 先生

●専門分野
耳鼻咽喉科学
●日本めまい平衡医学会理事、Barany Society member
●日本耳鼻咽喉科学会代議員、日本耳科学会代議員
●日本小児耳鼻咽喉科学会評議員、耳鼻咽喉科臨床学会運営委員



注目動画3

LIVE 振り返り 視聴

第2回 地域医療連携講演会 横浜市立大学附属病院における地域医療連携の取組 ～公立大学病院における課題と今後の展望～



- POINT 1 当院は地域医療連携を進めなければなりません！～当院の課題を地域医療連携が救う！～
- POINT 2 当院で地域医療連携を進めるのは大変です。～大学病院で地域連携を困難にさせるもの～
- POINT 3 当院の地域医療連携の未来は明るいです。～病院一丸となって進めています！～

横浜市立大学附属病院では最重要課題の一つとして地域医療連携を病院全体で推進しています。

医療機関の訪問による医療機能連携強化による紹介患者増、独自に収集した登録医の医療機能情報を活用したかかりつけ医案内窓口による逆紹介の推進など対策を講じています。

経営・患者サービス・医療従事者の働き方改革など待ったなしの課題が山積していますが、地域医療連携が病院を救う有効な手段となります。

演者

公立大学法人 横浜市立大学附属病院
地域医療連携課 地域連携担当 副課長

岩壁 央 先生